平成 30 年 12 月 25 日
理工学研究科
グローバル人材育成支援室

【理工学研究科 GOES2019 海外研修説明会 配布資料】

大学院理工系イノベーション海外研修＜募集要項＞

Graduate Overseas Engineering and Science studies for Innovation

●申込期間　平成 30 年 12 月 25 日火曜日～平成 31 年 1 月 25 日金曜日

●申込対象学年

・平成 31 年度理工学研究科博士前期課程 1 年生
・平成 31 年度理工学研究科博士前期課程 2 年生
・平成 31 年度理工学研究科博士後期課程 1 年生
・平成 31 年度理工学研究科博士後期課程 2 年生
・平成 31 年度理工学研究科博士後期課程 3 年生

●申込要件

・海外研修の参加に強い意欲があること
・TOEIC スコアー400 点以上を有していること、または海外で生活をする上で必要とする最低限の英語によるコミュニケーション能力があること
・GOES ニューヨークに参加を希望する学生は、電池（電気化学）、バイオマスエネルギー、熱流体、燃料電池（PEM）のいずれかに関連する研究を行っていること
・指導教員の推薦があること
・平成 31 年度共通科目「理工系国際コミュニケーション海外研修」を履修すること
・平成 30 年度の成績評価係数が 2.30 以上であること
（日本学生支援機構 海外留学支援制度の受給資格による別紙参照）
・それ以外の研究等を希望する学生はグローバル人材育成支援室まで相談にいくこと

●申込について　【提出期日：平成 31 年 1 月 25 日金曜日】

・提出書類は申込書、英語のエッセイ、成績評価係数チェックシート
・英語のエッセイは裏面にある説明に沿って作成する。
・申込書や成績評価係数チェックシートはグローバル人材育成支援室ホームページよりダウンロードする。
http://globaljinzai.eng.kagoshima-u.ac.jp/?page_id=887
・指導教員には、申込書にある推薦のお願いをする。
・申込書、英語のエッセイ、成績評価係数チェックシートを PDF で次のアドレスへ送信する。
・メール件名：海外研修 GOES2019 申込（学生名）を記入　・送信先：globaljinzai@gm.kagoshima-u.ac.jp

●今後のスケジュール（予定）

・1 月末日頃、または 2 月初旬に面接を実施(申込後、面接実施はメールで通知)
・面接の質疑応答は英語、または日本語による

【問合せ先】
理工学研究科グローバル人材育成支援室
藤崎 文乃、ボウ・コーザー
E-mail：globaljinzai@gm.kagoshima-u.ac.jp
建築学科棟 1 号館 1 階

海外研修英語エッセイ

●以下の説明を読み、英語でのエッセイを作成してください。

Please write a 500 word essay explaining why you want to participate in this study abroad experience. Please tell us about:

- Your purpose/goals for participating
- Any overseas experience you have had
- Any international events you've participated in, in Japan
- Your experience learning English

●If you copy/paste your essay into this app, it will tell you how many words you have written: http://wordcounttools.com

●Please save your file as a PDF and send it to: globaljinzai@gm.kagoshima-u.ac.jp

Deadline：Friday, 25th January 2019

ここはグローバル人材教育のための支援室です。このエッセイを書かせる理由は、皆さんの英語力を把握し支援を行う為に実施していますので、試験ではありません。
もちろん「Do your best」、でも心配しないでね！

平成 30 年 12 月 25 日
理工学研究科
グローバル人材育成支援室

2019 年度日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度
派遣学生の資格及び要件

次の（１）～（８）に掲げる資格及び要件を全て満たす者とします。

（１）日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者（特別永住者を含む）

（２）学生交流に関する協定等に基づき、派遣先大学等が受入を許可する者

（３）経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者

※機構が実施する2019年度第二種奨学金在学採用の家計基準に合致する者を優先とします。

※奨学金支給割当人数に余剰が生じる場合は、在籍大学等において「経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者」として認める者も対象とします。

（４）派遣プログラム参加にあたり、必要な査証を確実に取得し得る者

（５）派遣プログラム終了後、在籍大学等に戻り学業を継続し、在籍大学等の学位を取得する者又は卒業する者

※退学・除籍の予定がある者は、要件を満たしません。

※プログラム途中に正規の課程を卒業・修了する者は、要件を満たしません。

（６）在籍大学等における学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、次に定める方法で求められる、在籍大学等における選考時の前年度の成績評価係数が2.30以上（3.00満点）である者。

※前年度の成績がない場合は、選考時の前学期分の成績から算出するものとします。

※成績評価係数で表すことができない場合は、別に定める様式に、特に成績が優秀であり、成績評価係数2.30相当以上であるとする理由を明記します。

※平成30（2018）年度まで認められている、短期研修・研究型に限った成績要件（成績評価係数2.00以上2.30未満）に該当する学生の推薦は、2019年度よりできなくなります。

［成績評価係数の算出方法］

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第３位を四捨五入）

成績評価					
4段階評価（パターン1）	－	優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）	－	A	B	C	F
4段階評価（パターン3）	－	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）

$$\frac{(「評価ポイント３の単位数」\times 3)+(「評価ポイント２の単位数」\times 2)+(「評価ポイント１の単位数」\times 1)+(「評価ポイント０の単位数」\times 0)}{総登録単位数}$$

※履修した授業について単位制を採らない場合は、科目数を全て単位数に置き換えて算出すること。

（７）本制度以外の、派遣プログラム参加のための奨学金等（渡航に係る費用及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない）を受ける場合、当該奨学金等の支給月額（複数の団体等から受ける場合は合計金額の月額換算額）が、本制度による奨学金月額を超えない者

※本制度以外の奨学金等を受ける際、奨学金等支給団体側が、本制度の奨学金との併給を認めない場合があるので、ご注意ください。

※日本学生支援機構が実施する「第一種・第二種奨学金」（貸与型）との併給は可能です。

※日本学生支援機構が実施する「給付奨学金」との併給は認められません。

※「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～」との併給は認められません。

（８）外務省の「海外安全ホームページ」上の「レベル２：不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当する地域以外に派遣される者

※派遣学生として登録する時点で、派遣先大学等の所在地が「レベル２」以上に該当する地域になった場合は、本制度の派遣学生として登録することは認められません。また、留学期間中に「レベル２」以上に該当する地域になった場合は、奨学金の支給を原則見合わせます。

なお、この件について不明な点がありましたら、大学院係、またはグローバル人材育成支援室にお問合せください。